

損益の概況（損益計算書）**1. 供給事業の状況**

総供給高は1億6,313万円で、予算比92.0%、前年比99.5%です。

自主供給である供給は予算比84.2%、前年比95.8%の7,776万円で減少しました。

共同購入は、前年比98.8%、5,856万円で、前年よりも69万円の減少となりました。主要企画である「ひとり一品以上利用拡大キャンペーン」は、前年比では約98%となりましたが、毎回約5000人のご利用を頂き定着した企画になっています。年2回の「生活応援5%割引セール」は組合員の要望を反映し、夏の生活応援5%割引セールの商品お届け時期を見直したことで、前年比109.4%、冬のキャンペーンも前年比102.2%に伸長し、回を重ねるごとに職場に定着したキャンペーンとなりつつあります。

通信供給は、前年比82.1%、1,382万円でした。EC企画は伸長したもののくらしと生協や業者企画の展開数減が主な要因です。

巡回・代行は、ジュエリーバスツアー、長期休暇中の日本トリムの実績ですが、前年比106.3%、538万円で伸長しました。

供給（指定店）は予算比100.4%、前年比103.0% 8,537万円と微増となりました。

2. 供給剰余金（供給高 - 供給原価 = 供給剰余金）

供給剰余金は予算比90.1%、前年比99.2% 1,865万円で前年よりも15万円減少しました。

3. その他手数料収入の状況

その他事業収入はガソリン手数料、共済手数料は縮減しましたが、保険手数料、利用手数料は前年比を上回り、予算比では101.3%、前年比では101.0% 1億982万円と微増となりました。

4. 事業総剰余金（供給剰余金 + その他事業収入 = 事業総剰余金）

事業総剰余金は予算比99.5%、前年比100.7% 1億2,848万円で前年よりも93万円と微増しました。

5. 事業経費の状況

事業経費は1億2,554万円で予算比97.1%、前年比100.9%で前年よりも106万円増加しています。人件費は、6,657万円で予算比102.4%、前年比103.9%でした。正規職員1名退職に伴い正規職員の補充、育児休暇職員の補充を派遣職員としたこと、退職給付費用が増加したことによります。物件費は予算比92.4%、前年比97.6%、5,896万円で、前年よりも145万円減少しました。印刷機を入替え、コピーカウンタ料のコスト削減を図るなど、日々コスト削減に努めています。

6. 事業剰余金（事業総剰余金 - 事業経費 = 事業剰余金）

事業総剰余金は微増したものの事業経費が増加したことにより、事業剰余金は前年比95.7% 294万円で前年よりも13万円減少となりました。

7. 事業外損益の状況

事業外収益は343万円で前年よりも41万円減少しました。受取利息の減少、前期に繰り入れた貸倒引当金の戻入益の減少によります。事業外費用は支払利息が発生しました。

8. 経常剰余金の状況（事業剰余金 + 事業外収益 - 事業外費用 = 経常剰余金）

経常剰余金は638万円で前年よりも55万円減少しました。

9. 特別損益の状況

今期は特別損益の発生はありません。

10. 当期剰余金等の状況

税引き前当期剰余金は638万円で、法人税及び法人税等調整額を控除した後の当期剰余金は428万円です。当期首繰越剰余金935万円と事務所改修積立金の当期分35万円の取崩と目的積立金として社会貢献活動グループ支援金3万円、WEBシステム構築積立金95万円の取崩を行い、当期未処分剰余金は1,496万円で教育事業等繰越金50万円を含んでいます。

2017年度キャンペーン利用状況

実施期間	供給金額	2016年度	前年比	利用校数	利用校率	利用者数	利用者率
第1回ひとり一品以上利用拡大キャンペーン	796万円	858万円	93.8%	546校	73.7%	5,057人	32.4%
夏の生活応援5%割引セール	550万円	503万円	109.4%	422校	57.0%	2,695人	17.3%
第2回ひとり一品以上利用拡大キャンペーン	762万円	765万円	99.6%	542校	73.1%	4,995人	32.2%
冬の生活応援5%割引セール	761万円	745万円	102.2%	481校	65.0%	3,542人	23.0%
第3回ひとり一品以上利用拡大キャンペーン	835万円	837万円	99.8%	554校	74.8%	5,261人	34.1%

2018年度

第72回通常総代会議案書

2018年度 第72回通常総代会議案書に記載誤りがありました。
該当箇所を上記のように修正させていただきます。

群馬県学校生協